



株主の皆様へ

CMP通信

2010年3月期 報告書
2009年4月1日～2010年3月31日

中国塗料株式会社

証券コード：4617

Ecology

環境との調和

Innovation

世界的視野に立った技術革新

Quality

高機能・高品質製品の開発

3つの視点から最先端技術で未来を見つめます。

社会の発展に結びつく高品質と高機能。その前提には、自然と人との調和に対する配慮が不可欠です。私たちは、Ecology、Innovation、Qualityという3つの視点から、常に技術の最先端で人と塗料を見つめます。

Contents

ごあいさつ	1
当期の概況	2
分野別概況	3
連結決算ハイライト	5
当期の当社の活動	7
環境・社会への取り組み	9
連結財務諸表	10
連結貸借対照表	10
連結損益計算書	11
連結株主資本等変動計算書	11
連結キャッシュ・フロー計算書	12
会社概要	13
株式の状況	14
個別決算の概要	14
株主メモ	15



ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、心より厚く御礼申し上げます。

平成22年4月1日より代表取締役社長に就任いたしました植竹でございます。ご指導のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

当期(平成21年4月1日より平成22年3月31日まで)の当社グループの業績についてご報告申し上げます。

代表取締役社長

植竹正隆

当期における世界経済は各国の景気刺激策によって緩やかに持ち直しておりますが、厳しい雇用情勢が続くなど、未だ本格的な回復には至らず不安定な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く環境としましては、船舶分野においては、世界的な荷動きの減少と船舶の過剰感から一部新造船の発注キャンセルや納期繰り延べなどが見られたものの、受注残の消化により世界的には前年を上回る建造量となりました。一方、工業分野においては、日本国内では設備投資や住宅建設の低迷が続きましたが、海外ではアジア地域を中心にインフラ整備に関連した堅調な動きも見られはじめました。また、世界の物流に欠かせないコンテナ輸送については経済危機の影響を最も顕著に受け、期の後半よりアジア地域での荷動きの増加によってコンテナボックスの余剰が解消されはじめたものの本格的な生産回復には至りませんでした。

一方、塗料の原材料となる原油や非鉄金属などの天然資源の価格が投機資金の流入等により再び上昇に転じるといった厳しい状況となりました。

このような経営環境のもと、当社グループにおきましては、国内外とも船舶用塗料の出荷実績は概ね横ばいで推移しましたが、工業用塗料は全体的に低迷し、中国を中心に海外で生産・販売するコンテナ用塗料にあっては前期に比べ大幅減となりました。

さらに為替が円高基調で推移したことにより海外での外貨建売上高が目減りし、金額面で更なる減少を余儀なくされました。

その結果、当期における当社グループの売上高は868億1千万円(前期比16.2%減)となりました。

これに対し、グループをあげてのコスト削減や不採算製品の見直しをはじめ組織改革を行なうなど総合的な経営効率化を進めた結果、営業利益につきましては99億9千5百万円(前期比18.6%増)、経常利益は102億6千8百万円(前期比30.0%増)、当期純利益は54億2千2百万円(前期比7.8%増)となりました。

今後の当社グループを取り巻く経営環境としましては、船舶用塗料は一時的な船舶の生産調整の影響を受ける可能性はあるものの、新造船を中心に相当程度の需要が継続し、また新興国を中心とした荷動きの回復などから、コンテナ用塗料の需要も持ち直しに転じて行くものと思われま。一方、工業用塗料は低迷する国内建設市況がいつ回復するか予測困難であり、さらには上昇傾向にある原油・ナフサおよび非鉄金属などの素材原料価格や円高が続く為替動向などから、予断を許さない状況が続くものと思われま。

このような状況の中で、当社グループとしましては、従来培った技術・ノウハウを応用し、環境対応・省エネ対応製品はもとより、さらなる高付加価値・高機能の製品を開発するとともに、世界における発展性の高い地域において市場開拓を進め、より一層の収益力の強化を図るべく各種の施策に取り組んでまいります。

今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

船舶用塗料

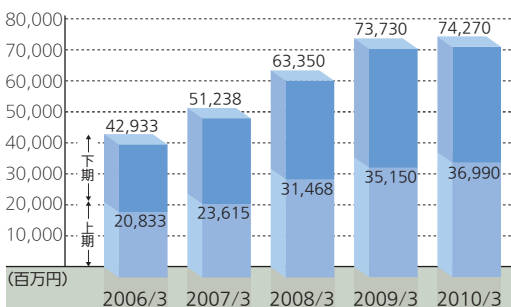


海運および造船業界において、地球環境保全という至上課題に応えるべく、省エネなど環境性能に優れた運行システムや新型船舶の開発競争が活発化しています。

一方、経済危機以降停滞していた海上輸送需要も中国など新興国の経済回復の下、ばら積み船による資源輸送を皮切りに向上きに転じ、コンテナ船による定期輸送に至るまでその動きが広がってまいりました。これに加え、係船や解撤などによる船腹調整が相補的に作用し、新造船の受注数量も次第に持ち直しつつあります。

こうした中、当社としましては引き続き塗料の安定供給に努めるとともに、海運・造船業界における環境ニーズを先取りした製品開発を進め、船舶用塗料業界における地歩を確固たるものとする所存です。

船舶用塗料の売上高



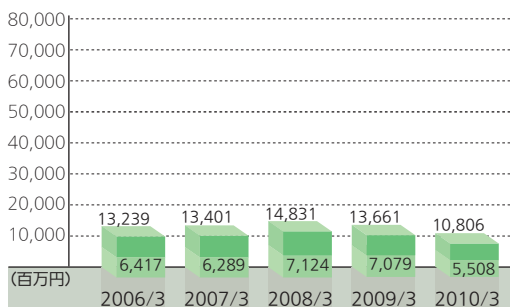
工業用塗料



国内において公共投資が縮小の傾向にあり、民間設備投資や住宅建設も低迷が続いているほか、海外においても当社の主力製品である重防食用や高機能塗料の需要に直結する案件が伸び悩むなど、工業用塗料は厳しい市場環境が続いています。しかしながら、塗料の高機能化要求の高まりや、海外、とりわけ新興国を中心とするインフラ整備の進展など市場の拡大に対する期待は大きいものがあります。

こうした中、新たな市場の掘り起こしを図るべく、国内においては当社が建材用塗料で培った技術・ノウハウを他分野に応用展開するなど、機能性塗料の取り組みを推し進めるとともに、海外においては当社ネットワークを駆使し、従来の重点地域である中国・東南アジアに加え、その他地域への拡販を積極的に進めてまいります。

工業用塗料の売上高



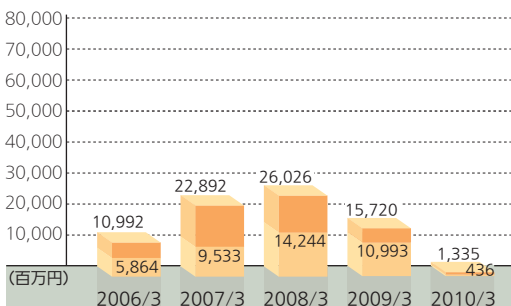
コンテナ用塗料



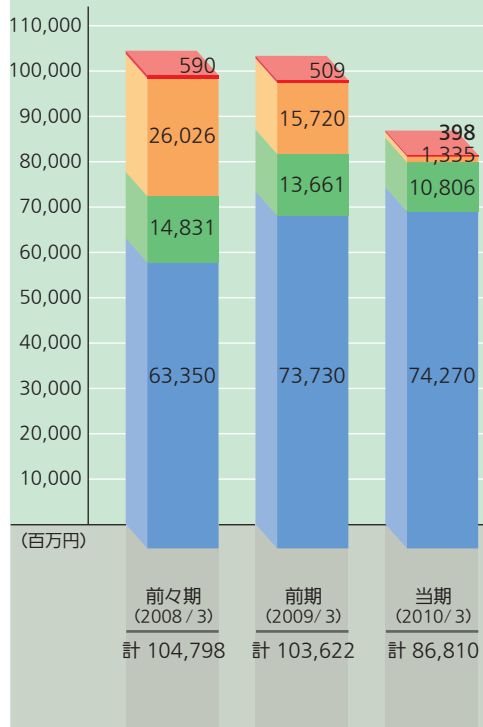
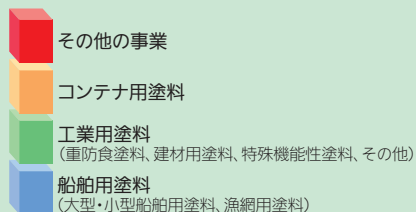
経済危機に端を発し海上コンテナ輸送が急速に落ち込んだ影響で、コンテナボックス需要は低迷を続け、当期末まで回復は見られませんでした。しかしながら、中国をはじめとする新興国の荷動きの回復や、海運業界における減速運航などにより、コンテナボックスの余剰感も次第に解消に向かっており、今後は需要持ち直しに転じて行くことが確実視されています。

当社としましては、こうした需要回復の動きをいち早く捉えるべく情報収集に努めるとともに、コンテナ業界においても高まっている環境対応ニーズに応える製品開発を進め、リーディングメーカーとしての役割を果たすべく努力を続けてまいります。

コンテナ用塗料の売上高



分野別売上高(連結)

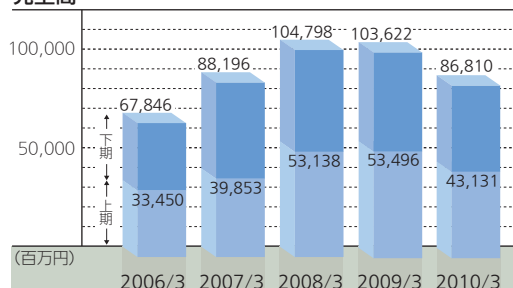


連結決算ハイライト

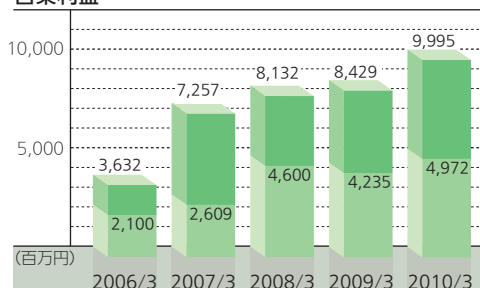
(単位：百万円)

科目	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期
売上高	104,798	103,622	86,810
営業利益	8,132	8,429	9,995
経常利益	7,442	7,899	10,268
当期純利益	5,117	5,031	5,422
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,846	4,074	14,290
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,621	△ 1,634	△ 2,805
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,419	△ 711	△ 5,790
現金及び現金同等物の期末残高	7,858	8,591	14,547
純資産	41,105	40,013	46,538
総資産	98,550	91,776	96,346
1株当たり純資産(円)	564.08	550.49	632.58
1株当たり年間配当額(円)	13	13	13
1株当たり当期純利益(円)	74.35	73.14	78.87
自己資本比率(%)	39.4	41.2	45.1
自己資本当期純利益率【ROE】(%)	13.2	13.1	13.3
総資産当期純利益率【ROA】(%)	5.1	5.3	5.6

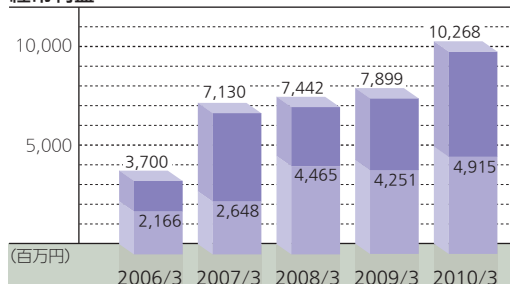
売上高



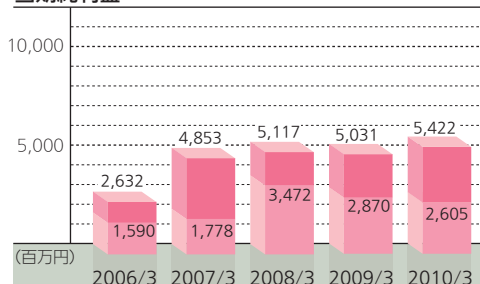
営業利益



経常利益



当期純利益



海外ネットワーク

Europe

オランダ ●
 英国 ●
 ドイツ ●
 ギリシア ●
 イタリア ●
 ノルウェー ●
 スペイン ●
 トルコ ●

Middle East

U.A.E. ●

Africa

南アフリカ ●
 エジプト ●

Asia

中国 ●
 香港 ●
 台湾 ●
 日本 ●
 韓国 ●
 シンガポール ●
 マレーシア ●
 タイ ●
 インドネシア ●
 フィリピン ●
 ベトナム ●
 インド ●
 スリランカ ●

Oceania

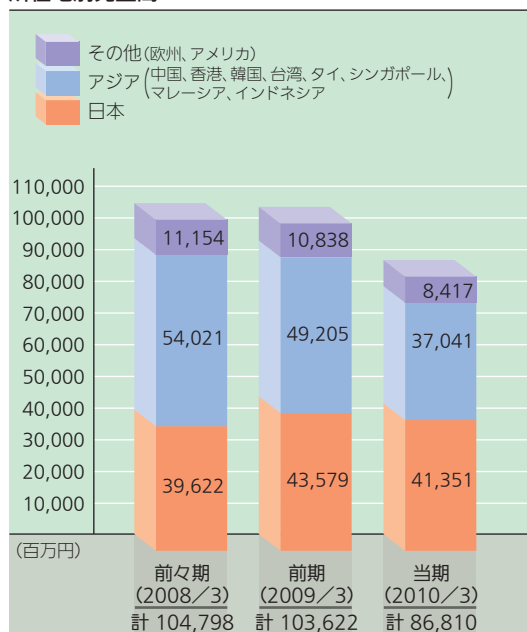
オーストラリア ●
 ニュージーランド ●

America

米国 ●
 キュラソー ●

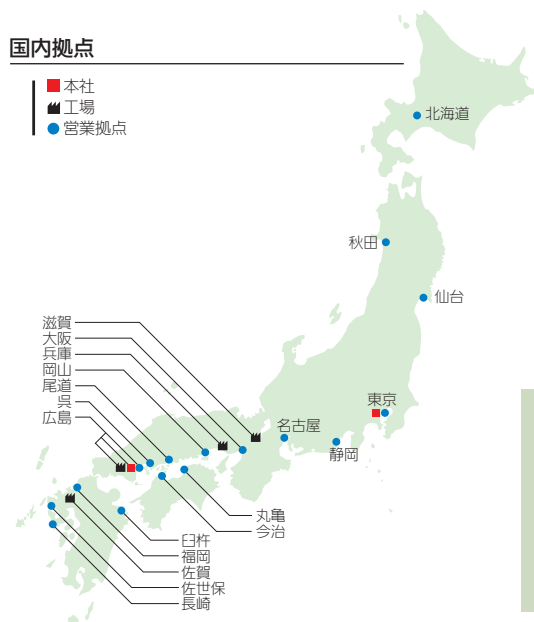
- 工場
- 事務所
- 技術供与先
- 販売代理店
- ◆ スtockポイント

所在地別売上高



国内拠点

- 本社
- 工場
- 営業拠点



New Product

新製品情報

燃費低減型船底防汚塗料

シープレミア

最適な平滑塗膜で船の燃費を低減します

当社は塗膜表面を平滑にする技術により、従来の船底防汚塗料と比べ3～5%の燃費低減を実現するシープレミアを開発しました。燃費の低減によりCO₂排出量削減に貢献する製品として、大きな期待が寄せられています。



プラスチック用紫外線硬化型塗料

フォルシード

さまざまな工業製品の価値向上に

紫外線照射により瞬時に硬化する紫外線硬化型塗料フォルシードは、光学用途をはじめとするプラスチック工業製品に、硬度アップや撥水性、耐指紋性や防眩性など、さまざまな機能を付与し、製品の価値を高めています。



展示会への出展

日本および海外において展示会に出展し、船舶用塗料や工業用塗料など当社が得意とする高機能製品のアピールを行ないました。今後もさらなる展開を図るべく、積極的に営業・広報活動を行なってまいります。



KORMARINE 2009
10月21日～24日(韓国)



ジャパンインターナショナルボートショー2010
3月4日～7日(横浜)

中国上海第2工場の竣工

当社の連結子会社である 中塗化工(上海)有限公司の第2工場が上海市嘉定区において竣工し、操業開始いたしました。

上海第2工場は、既存の第1工場とともに、今後の長期的成長が見込まれる中国市場の需要に応じて、安定した品質の製品と技術サービスを提供し、顧客満足を向上させるとともに、さらなる競争力の強化を図っております。なお、本工場は中国国内における3番目の塗料工場となります。



【工場概要】

- 竣工：2010年3月18日
- 敷地面積：33,400㎡
- 建物(延床)面積：12,800㎡
- 生産能力：50,000トン/年
- 生産品目：船舶用塗料、工業用塗料(橋梁・プラント・鉄鋼構造物等)、塗料用樹脂



環境への取り組み

地球環境の保全は私たちが生存していく上で、たいへん重要なことであるという認識の上に立ち、当社は環境への負荷の低減および環境との調和に努めるとともに、安全・健康にも配慮した企業活動を「コーティング・ケア」の原則に従い、全社一丸となり展開していきます。



当社は(社)日本塗料工業会が推進する「コーティング・ケア」に則り、環境・安全・健康の保全を目的とした自主管理活動を行なっています。

ISO14001 環境マネジメントシステム

環境保全という重要な社会的責務を確実に果たすべく、当社は環境マネジメントシステムの構築を進めています。当期未現在、以下の事業所にて認証を取得しています。

中国塗料株式会社 滋賀事業所

中国塗料株式会社 九州工場

CHUGOKU SAMHWA PAINTS, LTD.(韓国)

社会・環境報告書

当社の各年における社会・環境への取り組みを「社会・環境報告書」にとりまとめ、公開しています。



「社会・環境報告書」はホームページよりダウンロードしていただけます。

<http://www.cmp.co.jp/eco/>

また、冊子をご希望の方は当報告書裏表紙に記載の弊社東京本社までご請求ください。

社会への取り組み

当社は、ステークホルダーに対する幅広い社会的責任を果たすことを経営の重要な課題と位置づけ、中長期的視野で企業活動を展開すべく努めています。

投資家への取り組み

不測の事態により企業価値を毀損する事がないよう、リスク管理やコンプライアンスへの取り組みを行なっています。



当社事業に係る法令の網羅的な理解と、その中でも重要な法令についての理解を促すため、コンプライアンス研修を実施しています。

遵法精神の徹底、中長期的視野に立った本業経営、そしてステークホルダーとの相互理解を促す行動基準を国内外全グループ会社に掲出しています。



従業員への取り組み

当社では人命尊重を最重要とする考え方に立ち、労働災害ゼロを目指した安全・衛生への取り組みと管理を行なっています。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目		前期 (2009年3月31日現在)	当期 (2010年3月31日現在)			
資産の部	流動資産	現金及び預金	8,625	14,767		
		受取手形及び売掛金	34,891	35,302		
		商品及び製品	9,525	7,798		
		仕掛品	505	410		
		原材料及び貯蔵品	5,972	4,621		
		繰延税金資産	841	1,024		
		その他	912	1,096		
		貸倒引当金	△ 645	△ 952		
		流動資産合計	60,629	64,068		
		固定資産	有形固定資産			
	建物及び構築物		6,280	6,314		
	機械装置及び運搬具		2,589	2,541		
	土地		13,124	13,164		
	その他		1,842	2,373		
	有形固定資産合計		23,837	24,394		
	無形固定資産		843	841		
	投資その他の資産					
	投資有価証券		4,958	5,823		
	繰延税金資産		380	268		
	その他	1,132	1,000			
貸倒引当金	△ 5	△ 50				
投資その他の資産合計	6,465	7,042				
固定資産合計	31,146	32,278				
資産合計		91,776	96,346			
負債の部	流動負債	支払手形及び買掛金	13,193	12,976		
		短期借入金	24,939	20,659		
		一年内返済予定の長期借入金	149	1,819		
		未払金	2,748	2,590		
		未払法人税等	785	2,893		
		賞与引当金	83	89		
		製品保証引当金	127	188		
		その他	2,322	2,905		
		流動負債合計	44,351	44,124		
		固定負債	長期借入金	3,001	1,182	
	長期未払金		295	295		
	繰延税金負債		33	181		
	再評価に係る繰延税金負債		3,026	3,026		
	退職給付引当金		659	596		
	その他		393	399		
	固定負債合計		7,410	5,683		
	負債合計		51,762	49,808		
	純資産の部		株主資本	資本金	11,626	11,626
				資本剰余金	7,783	7,783
		利益剰余金		21,210	25,739	
自己株式		△ 187		△ 194		
株主資本合計		40,433		44,954		
評価・換算差額等		その他有価証券評価差額金	△ 15	535		
		土地再評価差額金	3,168	3,168		
		為替換算調整勘定	△ 5,735	△ 5,170		
		評価・換算差額等合計	△ 2,581	△ 1,466		
		少数株主持分	2,161	3,049		
純資産合計		40,013	46,538			
負債及び純資産合計		91,776	96,346			

現金及び預金

キャッシュ・フローの改善により、前期に比べ61億4千2百万円増加しました。

たな卸資産

売上の減少に伴い、前期に比べ31億7千2百万円減少しました。

短期借入金

借入金の返済により、前期に比べ42億7千9百万円減少しました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期 (自2008年4月1日 至2009年3月31日)	当期 (自2009年4月1日 至2010年3月31日)
売上高	103,622	86,810
売上原価	74,550	56,833
売上総利益	29,072	29,976
販売費及び一般管理費	20,642	19,981
営業利益	8,429	9,995
営業外収益	1,136	888
受取利息	78	51
受取配当金	175	127
受取ロイヤリティ	116	73
技術指導料	124	140
その他	642	494
営業外費用	1,666	616
支払利息	774	351
為替差損	431	30
その他	460	234
経常利益	7,899	10,268
特別利益	23	7
固定資産売却益	15	6
その他	8	0
特別損失	176	136
固定資産売却損	3	4
投資有価証券評価損	7	124
その他	166	7
税金等調整前当期純利益	7,746	10,138
法人税、住民税及び事業税	2,116	4,060
法人税等調整額	△ 118	△ 246
少数株主利益	717	901
当期純利益	5,031	5,422

売上高

船舶用塗料は堅調でしたが、コンテナ用塗料の減少や円高により、前期に比べ168億1千2百万円減少しました。

営業利益

コスト削減や不採算製品の見直しをはじめとする経営効率化により、前期に比べ15億6千5百万円増加しました。

経常利益

支払利息や為替差損の減少などにより、前期に比べ23億6千8百万円増加しました。

当期純利益

税金費用の増加により、前期に比べ3億9千万円の増加にとどまりました。

連結株主資本等変動計算書

当期(自2009年4月1日 至2010年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
前期末残高	11,626	7,783	21,210	△ 187	40,433	△ 15	3,168	△ 5,735	△ 2,581	2,161	40,013
当期中の変動額											
剰余金の配当			△ 893		△ 893						△ 893
当期純利益			5,422		5,422						5,422
自己株式の取得				△ 7	△ 7						△ 7
自己株式の処分		0		0	0						0
株主資本以外の 項目の当期中の 変動額(純額)						550	—	564	1,115	887	2,002
当期中の変動額合計	—	0	4,528	△ 7	4,521	550	—	564	1,115	887	6,524
当期末残高	11,626	7,783	25,739	△ 194	44,954	535	3,168	△ 5,170	△ 1,466	3,049	46,538

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	(自 2008年4月1日 至 2009年3月31日)	(自 2009年4月1日 至 2010年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	7,746	10,138
減価償却費	1,555	1,605
のれん償却額	22	21
貸倒引当金の増減額(減少:△)	48	317
退職給付引当金の増減額(減少:△)	12	△ 72
その他引当金の増減額(減少:△)	△ 62	53
受取利息及び受取配当金	△ 254	△ 179
支払利息	774	351
為替差損益(差益:△)	△ 9	△ 4
投資有価証券売却損益(益:△)	△ 0	△ 0
投資有価証券評価損	7	124
会員権評価損	14	7
固定資産売却損益(益:△)	22	13
売上債権の増減額(増加:△)	△ 3,082	2,825
たな卸資産の増減額(増加:△)	△ 310	3,501
未収消費税等の増減額(増加:△)	501	—
未払消費税等の増減額(減少:△)	—	45
仕入債務の増減額(減少:△)	111	△ 655
割引手形の増減額(減少:△)	192	△ 2,516
長期未払金の増減額(減少:△)	△ 53	—
その他	17	874
小計	7,255	16,453
利息及び配当金の受取額	254	178
利息の支払額	△ 783	△ 359
法人税等の支払額	△ 2,652	△ 1,982
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,074	14,290
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△ 31	△ 648
定期預金の払戻による収入	102	87
固定資産の取得による支出	△ 3,009	△ 2,176
固定資産の売却による収入	1,647	43
投資有価証券の取得による支出	△ 19	△ 110
投資有価証券の売却による収入	3	1
子会社株式の取得による支出	△ 293	—
その他	△ 34	△ 3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,634	△ 2,805
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(減少:△)	423	△ 4,503
長期借入れによる収入	100	—
長期借入金の返済による支出	△ 133	△ 149
自己株式の売却による収入	8	0
自己株式の取得による支出	△ 41	△ 7
配当金の支払額	△ 893	△ 892
少数株主への配当金の支払額	△ 213	△ 262
少数株主からの払込みによる収入	77	76
その他	△ 38	△ 51
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 711	△ 5,790
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 994	260
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	733	5,955
現金及び現金同等物の期首残高	7,858	8,591
現金及び現金同等物の期末残高	8,591	14,547

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業債権やたな卸資産の減少などにより、102億1千6百万円増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の売却による収入の減少などにより、11億7千1百万円減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の減少などにより、50億7千9百万円減少しました。

創 立	1917年(大正6年)5月
資本金	11,626,085,606円
本 社	東京本社 東京都千代田区霞が関三丁目2番6号 広島本社 広島県大竹市明治新開1番7 (本店登記地)

CMPグループの概況

CMPグループは中国塗料株式会社(当社)およびその子会社25社により構成されており、塗料製品の製造、販売を主な事業としているほか、これらに附帯するサービス業務等を営んでおります。

塗料関連事業(国内)	(計8社)
当社、大竹明新化学(株)、神戸ペイント(株)、文正商事(株)、 グローバル・エンジニアリング・サービス(株)、 中国塗料長崎販売(株)、中国塗料技研(株)、三陽興産(株)	

塗料関連事業(海外)	(計15社)
CHUGOKU MARINE PAINTS (Hong Kong), Ltd. CHUGOKU MARINE PAINTS (Shanghai), Ltd. CHUGOKU MARINE PAINTS (Guang Dong), Ltd. CHUGOKU MARINE PAINTS (Singapore) Pte., Ltd. CHUGOKU PAINTS (Malaysia) Sdn.Bhd. CHUGOKU PAINTS B.V.	
	その他9社

その他の事業	国内(計4社)
当社、(株)シーエムピー企画、中国ソフト開発(株)、 ヤス運送(株)	

役員

(2010年7月1日予定)

取締役および監査役		
代表取締役会長	山住	哲夫
代表取締役社長	植竹	正隆
常務取締役	木戸	久雄
常務取締役	船田	昌平
取締役	原田	伸
取締役	熊井	一也
取締役	廣中	茂美
取締役	宮内	光明
取締役	長谷川	博
取締役	尾野	眞史
取締役	河添	正雄
取締役	土井	常雄
取締役	三好	秀則
常勤監査役	田尾	正司
常勤監査役	宮原	忠之
監査役	中野	紀従
監査役	浦部	善教

(注)監査役 中野紀従、浦部善教の両氏は社外監査役であります。

執行役員

執行役員	大浦	隆志
執行役員	羽野	清孝
執行役員	近藤	俊昭
執行役員	吉野	實

CMPグループ従業員の状況

事業区分	従業員数(名)	
塗料関連事業	国内	628 (123)
	海外	1,642 (62)
小 計	2,270 (185)	
その他の事業	国内	31 (11)
全 社(共通)	国内	36 (6)
総 計	2,337 (202)	

※カッコ内は派遣社員および臨時社員の期中平均人数

株式の状況

(2010年3月31日現在)

株式の総数および株主数

発行可能株式総数 277,630,000 株

発行済株式総数
(自己株式を含む) 69,068,822 株

自己株式 321,033株

株主数 5,933 名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	構成比(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,485	7.98
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,108	5.98
三菱商事株式会社	3,901	5.67
株式会社広島銀行	3,417	4.97
ザチェースマンハッタンバンクエヌエイロンドンエスエルオムコパスアカウント	2,091	3.04
明治安田生命保険相互会社	2,000	2.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,600	2.33
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,553	2.26
ノザンラストカンパニー(エイアイエフ)サブアカウントアメリカンクライアント	1,436	2.09
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,280	1.86

※構成比は自己株式を控除して計算しています。

個別決算の概要

要約貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	(2009年3月31日現在)	(2010年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	23,484	26,235
固定資産	37,346	37,802
資産合計	60,831	64,037
負債の部		
流動負債	23,147	25,384
固定負債	6,403	4,873
負債合計	29,551	30,257
純資産の部		
株主資本	28,132	30,084
資本金	11,626	11,626
資本剰余金	7,783	7,783
利益剰余金	8,910	10,869
自己株式	△ 187	△ 194
評価・換算差額等	3,148	3,695
その他有価証券評価差額金	△ 20	526
土地再評価差額金	3,168	3,168
純資産合計	31,280	33,780
負債及び純資産合計	60,831	64,037

要約損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	(自2008年4月1日 至2009年3月31日)	(自2009年4月1日 至2010年3月31日)
売上高	43,032	40,087
売上原価	32,573	27,985
売上総利益	10,458	12,102
販売費及び一般管理費	9,734	9,742
営業利益	724	2,359
営業外収益	2,820	2,759
営業外費用	526	391
経常利益	3,017	4,727
特別利益	197	4
特別損失	18	125
税引前当期純利益	3,196	4,605
法人税、住民税及び事業税	627	1,950
法人税等調整額	△ 14	△ 197
当期純利益	2,583	2,852

株主メモ

■ 事業年度	4月1日～翌年3月31日
■ 定時株主総会開催時期	毎年6月
■ 同総会議決権行使基準日	毎年3月31日（その他必要ある場合は、あらかじめ公告します。）
■ 配当	期末配当金受領株主確定日 3月31日 中間配当金受領株主確定日 9月30日
■ 公告掲載	日本経済新聞 貸借対照表および損益計算書を当社ホームページに掲載しております。(http://www.cmp.co.jp/)
■ 株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
■ 特別口座の口座管理機関	
■ 連絡先	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
■ 郵便物送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711

- 【ご注意】 1、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2、特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3、未受領の配当金につきましては三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

■ 株式に関する手続きについて

	お手続き、ご照会等の内容		お問合せ先
特別口座に記録された株式	○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取（買増）請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法のご指定（※）	特別口座の 口座管理機関	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711 【手続き書類のご請求方法】 ○音声自動応答電話によるご請求 ☎0120-244-479 ○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufig.jp/daikou/
	○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	

（※）特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びできません。

証券会社等の 口座に記録 された株式	○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711
	○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

CMP 通信

2010年3月期 報告書

2009年4月1日～2010年3月31日



社 名 中国塗料株式会社
 英文社名 CHUGOKU MARINE PAINTS, LTD.
 東京本社 〒100-0013 東京都千代田区霞が関三丁目2番6号
 ☎ 0120-70-4931 (しきさい/色彩)
 広島本社 〒739-0652 広島県大竹市明治新開1番7
 ☎ 0120-75-4931 (しきさい/色彩)
 ホームページ http://www.cmp.co.jp/